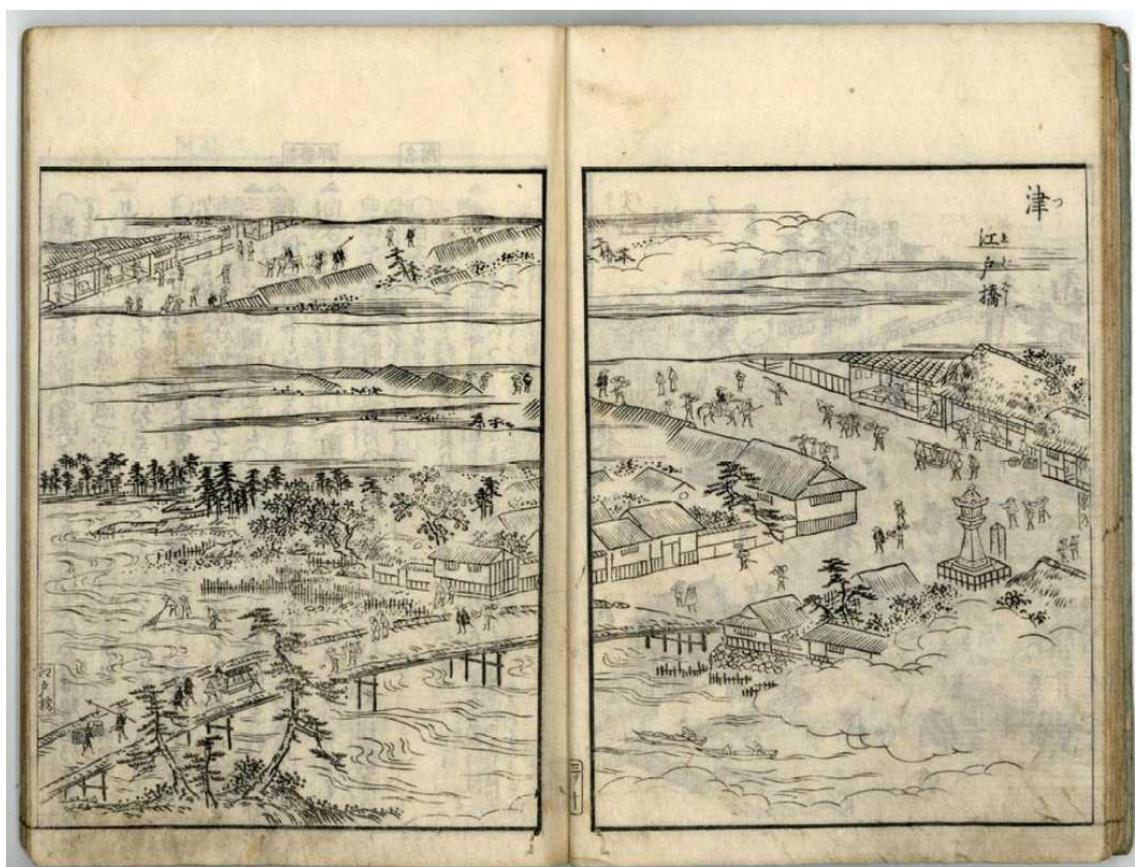


三重大学附属図書館研究開発室 事業報告

平成 21 年度



【 伊勢参宮名所図会 江戸橋 】

平成21年度事業の概要

研究開発室では、21年度当初に14の事業の柱を立て、これに沿って活動を行うこととした。これらには、研究開発室の基本的な事業として着実に取組を蓄積して行くべきもの、機会があれば実施するものなど、事業の重みは必ずしも一様ではない。以下、これらの各項目について、今年度の取組の概要を述べる。

1. 大学図書館の研究・研究支援機能高次化に関する動向調査

本調査は各種会合、学会等の機会を捉えて情報収集や意見交換を行い、また各種の文献資料、インターネット情報によって資料収集を図ったものであり、独立した調査事業としての取り纏めは行っていない。

2. 歴史的・文化的資産データ集積事業の整備

三重県史編さん室との連携による事業であり、2009年度はその2ヶ年度目にあたる。三重県の歴史文化を主題とする学術論文・雑誌記事等を学術雑誌・大学紀要・地域雑誌等から抽出し、個別カードを作成し、これをもとに更にEXCELによる一覧表を整備した。当室では、三重大学附属図書館架蔵の県内高等教育機関について作業を終了し、近県高等教育機関、国立博物館等についてのデータ収集を継続している。2010年度は、当面予定していた事業最終年度に当たっており、データ収集作業を継続するとともに、今後のデータの公開活用に向けての検討を要する。

3. 伊勢新聞記事データベースの整備

同一題字によるわが国最古の新聞である伊勢新聞の記事主題別データベースの構築のための取組であり、関心を持つ研究室や学生の協力を得て、可能な場合に実施することとしている。2009年度は戦前期の海女に関する記事を抽出し、掲載根月日、見出し、概要等の一覧表を作成した。

4. 三重大学文化フォーラムの実施

伊賀市・志摩市・鳥羽市を開催地とし、計10回、15講演の講演会を実施した。実施に当たっては、当室が主催者として全体を統括するとともに、中部電力、伊勢市、志摩市、鳥羽市、皇學館大学社会福祉学部、海の博物館が共催後援等の立場で加わった。その成果報告として『三重大学文化フォーラム in みえ 第5回開催報告書』を作成した。

5. 「発見塾」三重大学シリーズの実施

津市内を開催地とし、計6回、6講演会を実施した。津市教育委員会主催、津文化協会主管の講演会シリーズであり、企画・運営・広報等の実質的な協力を行った。成果報告として、津文化協会の作成する『「発見塾」抄録集』があり、その編集にも協力を行った。

6. 三重大学附属図書館の所蔵資料に関する調査研究

本学の大学史に関わるものとして、レーモンドホール及び三重県立大学関係の資料の調査を行い、成果の概要をギャラリー「三重大学レーモンドホールとアントニン・レーモンド」として展示、HP掲載した。度会県の布達文書に関する目録作成調査を行い、成果の概要を「明治初期、県民への公報伝達 埋もれていた本館所蔵の県布達類」として展示、HP掲載した。戦前期の三重県に関する絵葉書資料の収集を行い、目録を作成した。また松阪市の材木商牧戸家の経営文書類の目録作成調査を継続中である。

7. 資料の保存管理に関する調査研究

上記度会県文書、牧戸家文書、絵葉書資料等について、保存管理および公開の方法について、検討を行うとともに、デジタルデータ化、保存映作成などの作業を行っている。

8. 研究開発室広報の充実

研究開発室の広報や事業実施に伴う資料蓄積は、主として HP 上で行うこととしており、逐次その充実を図ってきた。しかしながら、研究成果情報の掲載は、必ずしも十分ではなく、2009 年度事業報告の取り纏めに伴い、見直しを行いその充実を図ることとした。

9. 展示ギャラリーの運営

本学所蔵資料や地域資料をもとにした、コンテンツの蓄積を図るものであり、2009 年度は計 3 テーマの展示と、HP 掲載を行った。各テーマについて、いずれも資料照会、問い合わせ等があり、レーモンドホールは本展示ギャラリーがもとになって、全国的な展覧会(「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展)で取り上げられる等の効果があった。

10. 博物館等との連携・協力

事業実施を通して、県立博物館、県史編さん室、海の博物館、中央水産研究所図書資料館、かめやま美術館、三重県教育委員会、伊賀市教育委員会、津市教育委員会等との連携協力をを行い、また協力いただいた。本学には博物館等との連携を担当する博学連携推進室が設置されているため、同室との適切な役割分担や連携についても検討を行い、整理を図った。

11. 海女研究会の運営

海女について学際的な研究交流を図るため、海女研究会を 5 回開催し、その事務局を担当した。各回の参加者数は 20 名前後、参加者の所属機関は、本学及び県立博物館、県史編さん室、県教育委員会、海の博物館、水産研究所、愛知大学、鈴鹿短大などに及んでいる。

12. 学術情報リテラシー

図書館情報学を専門とする兼務教員及び情報図書館チーム職員が、三重県や津市等の外部団体の委員として活躍している。さらに、兼務教員においては情報図書館チーム情報リテラシー担当が実施したスタートアップセミナーにおける図書館ツアーや、各種講習会に関して助言を行い、アンケート結果のまとめや次年度以降の計画作成に協力した。また、共通教育 3 号館のラーニング commons の設計に当たっては、高等教育創造開発センター、共通教育、工学研究科、附属図書館を横断したワーキングに参加し、平成 22 年度以降の運用にも関わっていく予定である。

13. 歴史街道 GIS (学術ポータルセンターとして実施・別途報告)

14. 機関リポジトリ (学術ポータルセンターとして実施・別途報告)

三重大学・皇學館・伊賀市 文化フォーラム 2009

主催:三重大学・皇學館大学社会福祉学部・伊賀市・伊賀市教育委員会 協賛:中部電力 後援:三重ティーエルオー・上野商工会議所

第1回	2009.6.7	伊賀市ゆめぼり すセンター	大学院工学研究科・准教授	川口 淳	地域防災の現状と課題を考える ～在住外国人の暮らしと防災～
第2回	2009.6.23	伊賀市中央公 民館	大学院生物資源学研究 科・准教授	常 清秀	水産資源と私達の暮らし
第3回	2009.7.5	伊賀市ゆめぼり すセンター	教育学部・教授	藤田 達生	藤堂高虎と町おこし
第4回	2009.7.28	伊賀市中央公 民館	皇學館大学文学部・教授	外山 秀一	伊賀地域の文化的特性 - 東西文化と方言 -
第5回	2009.8.6	伊賀市ゆめぼり すセンター	皇學館大学文学部・教授	高倉 一紀	子どもと本をつなぐ人
第6回	2009.8.23	伊賀市ゆめぼり すセンター	皇學館大学社会福祉学 部・准教授	藤井 恭子	子どもを支援する地域教育活動 の新たな展開

三重大学・鳥羽市・海の博物館 文化フォーラム 2009

主催:三重大学・鳥羽市・海の博物館 協賛:中部電力 後援:志摩市ほか(「日本列島 海女 さん大集合～海女フォーラム」の一環として)

第1回	2009.10.3	海の博物館レク チャーホール 共通テーマ「志 摩の海女文化を 探る」	人文学部・教授	塚本 明	近代志摩海女の出稼ぎについて
			人文学部・教授	武笠 俊一	志摩海女と房総海女の民俗比較
			客員教授	川口 祐二	全国漁村聞き取り調査から見る 志摩海女

三重大学・皇學館・志摩市 文化フォーラム 2009

主催:三重大学・志摩市 協賛:中部電力 後援:志摩市商工会・三重ティーエルオー

第1回	2009.11.15	志摩市役所4階 会議室	教育学部・教授 人文学部・准教授	乗本 秀樹 豊福 裕二	みんなでつくる地域の未来、あなたと社会の交差点 - 地域社会のあり方を考える -
第2回	2009.11.29	志摩市役所4階 会議室	教育学部・教授 医学部附属病院栄養指 導管理室・室長	富樫 健 岩田 加壽子	見直そう子どもの食生活と健康 づくり - 生活習慣病はこうしてつ られる -
第3回	2009.12.13	志摩市役所4階 会議室	人文学部・教授 大学院生物資源学研究 科・教授	安食 和宏 梅崎 輝尚	私たちがいただく食材のイメージ は正しいのか - 地域食材、食文 化を大切に意味とは -

2009 年度 ? 「発見塾」三重大学シリーズ http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/hk_past.html

主催:津市教育委員会・津市民文化祭実行委員会 主管:津文化協会 後援:三重大学・三重ふるさと新聞

第1回	2009.5.23	津図書館 2F視聴覚室	教育学部・教授	山口 泰弘	藤堂高虎の「実像」に迫る
第2回	2009.7.25	津図書館 2F視聴覚室	大学院工学研究科・准教授	浅野 聡	津市の歴史・文化的景観を活かしたまちづくり - 景観法と景観まちづくり -
第3回	2009.9.26	美里文化センター 内 文化ホール	大学院生物資源学研究科・教授	伊藤 進一郎	森の中の「かび」や「きのこ」のお話
第4回	2009.11.28	津センターパレス まん文化交流館 研修室	人文学部・教授	廣岡 義隆	草陰のアノな行かむと壘(は)りし道
第5回	2010.1.23	津市一志保健センター	医学部・教授	成田 有吾	認知症を少しでも理解するために
第6回	2010.3.27	津図書館 2F視聴覚室	工学研究科・教授	井須 尚紀	乗物酔いの科学と技術

2009 年度 海女研究会 http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/research/amaken/page_top.html

2010年2月1日(月) 15:30~ 例会
 場所 県立博物館 レクチャールーム
 内容 原田泰志(三重大学大学院生物資源学研究科)
 「潜水漁の漁業管理」
 川口祐二(エッセイスト)
 「壱岐の海女」



2009年12月7日(月) 15:30~ 例会
 場所 三重県立博物館会議室
 内容 山本茂紀(愛知大学)
 山本和子(愛知大学)
[「海女の衰退を潜水科学、ジェンダーの視点より実証的に研究し、再生の道を提案する」](#) “第一報”

2009年8月24日(月) 15:30~ 例会
 場所 三重県立博物館レクチャー室
 内容 武笠俊一(三重大学人文学部)
 「南房総のアマ」
 川又俊則(鈴鹿短期大学)
[「南房総のアマ:房州ちくら漁協の現況」](#)

2009年6月15日(月) 15:30～ 例会

場所 三重県立博物館レクチャー室

内容 塚本明(三重大学人文学部)

[「近代志摩海女の出稼ぎについて」](#)

会田理人(北海道開拓記念館)

「利尻島におけるテングサ漁について」

2009年4月20日(月) 15:00～ 例会

場所 三重県立博物館レクチャー室

内容 川口祐二(エッセイスト、三重大学客員教授)

「志摩の海女 三人のはなし」

菅原洋一(三重大学附属図書館研究開発室)

「海女研究会における調査研究資料の蓄積について」

塚本明(三重大学人文学部)

「志摩市和具の海女聞き取り調査について」

「志摩市越賀区有文書の調査について」

【研究開発室ギャラリー】

・三重大学レーモンドホールとアントニン・レーモンド(菅原洋一)

http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/gallery/gallery2/raymond_top.html

・旅資料に描かれた津のまち(塚本明)

http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/gallery/gallery3/tab_i_top.html

・明治初期、県民への公報伝達 埋もれていた本館所蔵の県布達類(吉村利男)

http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/gallery/gallery4/hutatu_1.html



以下、室員の業績(研究開発室に関連するもの)及び情報図書館チーム職員参加分を列挙

【地域貢献】

- ・津市子ども読書推進協議会(副会長:小山憲司、委員:湖内夏夫)
- ・津市教育委員会学校図書館いきいき推進事業図書館運営研修講座
小山憲司「NDCの基礎知識」平成21年6月16日(於:附属図書館会議室)
柴田佳寿江, 峯澄子「インターネットで情報検索」平成21年12月22日(於:総合情報処理センター)
- ・三重県図書館協会ネットワーク部会(部長:小山憲司、委員:萩野三明)

【著書(共著)】

- ・長澤多代「学習支援・教育支援としての指導サービス:日米における事例」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践:すべての図書館で利用教育を』日本図書館協会, 2010, p.109-127.(JLA 図書館実践シリーズ, 14)

【論文発表】

- ・小山憲司「学術雑誌の電子化とそれに伴う変化 NACSIS-ILL ログデータ(1994-2007)を用いた文献複写需給の分析を中心に」情報管理 Vol. 53 (2010), No. 2 p.102-112
- ・菅原洋一「済州島潜嫂の法的闘争と組合」(翻訳)海の博物館紀要『海と人間』

【口頭発表(学外)】

- ・長澤多代「ライティング教育における大学図書館の役割と教育活動支援に向けた取り組み」(ラウンドテーブル(報告者))井下千以子, 井下理, 近田政博, 長澤多代, 土持法一, 田部井潤「ライティング教育を基点にした学習支援とFD活動の展開」第31回大学教育学会, 首都大学東京, 2009.6.6.
- ・長澤多代「大学における教育の質保証と大学図書館による学習・教育支援のアプローチ」(講演)平成21年度/第29回日本大学図書館業務研修会, 日本大学会館, 2009.8.3.
- ・長澤多代「ライティング教育を基点とした大学図書館における学習支援と教育支援の展開」(講演)名古屋大学附属図書館研究開発室第36回オープンレクチャー, 名古屋大学, 2009.9.18.
- ・長澤多代「課題探求型学習における情報利用教育:三重大学における「4つの力」スタートアップセミナーの事例をもとに」(講演)日本図書館協会図書館利用教育委員会, 第14回図書館利用教育実践セミナー, 日本図書館協会, 2009.9.25.
- ・Kenji Koyama 「Transformation of the ILL Services Among the Japanese University Libraries in Digital Era: The Results of the Comprehensive Analysis of NACSIS-ILL Transaction Records from 1994 to 2007」11th Interlending and Document Supply Conference, scheduled for 20 - 22 October, 2009
- ・小山憲司「学術コミュニケーションの現在」DRF 地域ワークショップ(環日本海)(金沢大学, 平成22年2月17日~18日) DRF:デジタルリポジトリ連合
- ・長澤多代「課題探求能力の育成を支援する大学図書館の取り組み:三重大学の附属図書館が供する学習支援の例をもとに」(パネルディスカッション(パネリスト))大学教育改革フォーラム in 東海2010「大学の学習支援における図書館の可能性」, 名古屋大学, 2010.3.13.

【ポスターセッション(学外)】

- ・柴山依子,原郭二,谷口元,加藤彰一,長澤多代,小山憲司,湖内夏夫「三重大学におけるラーニングコミュニティの導入計画」(ポスターセッション)大学教育改革フォーラム in 東海 2010,名古屋大学,2010.3.13.
- ・中井俊樹,長澤多代,齋藤芳子,近田政博,小山憲司,柴田佳寿江,峯澄子「A4一枚からのFD」(ポスターセッション)大学教育改革フォーラム in 東海 2010,名古屋大学,2010.3.13.
- ・峯澄子,柴田佳寿江,小山憲司,長澤多代「三重大学における教育と附属図書館が提供する情報リテラシー教育」(ポスターセッション)大学教育改革フォーラム in 東海 2010,名古屋大学,2010.3.13.

【口頭発表(学内)】

- ・長澤多代「課題探求のプロセスと図書館の利用」2009年度三重大学全学FD「TA(ティーチング・アシスタント)のための研修会」2010.3.2

【三重大学附属図書館研修等報告会】2009.12.25 附属図書館3階視聴覚室

- ・峯澄子「デジタルリポジトリ連合国際会議」報告
- ・柴田佳寿江「Elsevier ライブラリ・コネクト ワークショップ」報告
- ・河谷宗徳「機関リポジトリアウトプット評価プロジェクト合同ワークショップ」報告
- ・大塩寛子「愛知淑徳大学「文学部講演会」図書館ネットワーク:その誕生と軌跡」報告
- ・樋本洋子「平成 21 年度国立大学図書館協会シンポジウム「利用者から学ぶ - 個性的で多様な図書館サービスに向けて」」報告
- ・湖内夏夫「電子ジャーナルシンポジウム「学術情報流通の改革を目指して 3」」報告
- ・小山憲司「11th ILDS での発表紹介」
- ・長澤多代「海外における大学図書館の事情:カナダのウエスタンオンタリオ大学」

【HEDC ニューズレター】

- No.5 三重大学における学習・教育支援環境「附属図書館が提供するサービス」(萩野三明)
- No.6 教育開発のガイド No.1「著作権の基本」(長澤多代)
- No.9 教育開発のガイド No.4「情報検索の仕組みと基本的なデータベース」
(小山憲司,柴田佳寿江,峯澄子,長澤多代)

平成21年度 三重大学附属図書館研究開発室組織

	氏名	専門領域	所属・職名
室長 (図書館長)	松岡 守	電気工学	理事 副学長(情報・国際交流担当)
専任室員	菅原洋一	日本建築史	附属図書館研究開発室・教授
兼務室員	塚本 明	日本史学	人文学部・教授
兼務室員	小山憲司	図書館情報学	人文学部・准教授
兼務室員	長澤 多代	図書館情報学	高等教育創造開発センター・准教授
客員教授	石原義剛	博物館学	海の博物館館長
客員教授	川口祐二	漁村生活史	エッセイスト
客員教授	吉村利男	日本史学・考古学	三重県史編さんグループ・囑託
協力大学教員	石阪督規	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
協力大学教員	井口 靖	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・教授
協力大学教員	岩崎恭彦	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
協力大学教員	森 正人	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
事務	武田安代	-	学術情報部情報図書館チーム

